

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		最終校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価 (3月23日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>○基礎学力の定着に向けたバランスのとれた教育課程を編成するとともに、多様な生徒の特性等に対応した質の高い学習指導に取り組み、生徒一人ひとりの学習機会の拡大を促進する。</p>	<p>①学力の3要素を踏まえた教育課程の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、「確かな学力」向上を図る。</p> <p>②全ての生徒の学習を保障し、生成AIを含むICTを利活用した指導方法の工夫・改善を図る。</p> <p>③デジタル・ポートフォリオの作成を通して探究活動の充実を図り、成果発表機会を充実させる。また、コンテスト参加や国内外の教育機関との教育交流を目指す。</p>	<p>①生徒が身に付けるべき学力の3要素をどの単元でどのように指導するか教科で共有する。また、授業の振り返りを行い、生徒の意見を反映しながら学力向上を図る。</p> <p>②特別募集を含めたすべての生徒に対し、ICTを利活用した分かりやすい、達成感のある授業を目指す。</p> <p>③ICT教育を推進し、探究活動の成果を、外部の発表会や地域貢献等、さまざまな発表する機会に繋げる。</p>	<p>①学力の3要素を含んだ深い学びができる具体的な方策を「指導と評価」の計画の中で示すことができたか。</p> <p>また、生徒の意見を反映しながら授業改善を図ることができたか。</p> <p>②生徒による授業評価の「できるようになったと実感する」の観点ですべての科目で87%以上の肯定的な回答が得られたか。</p> <p>③生徒の自己肯定感、プレゼンテーション能力、課題解決力の向上が図られたか。</p>	<p>①学力の3要素を含んだ指導計画を立て、ICTを利活用した主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を行った。公開研究授業では「生成AIを活用した主体的・対話的で深い学びの実現」をテーマに学習活動を行い、その結果を全体で共有した。</p> <p>②1学期の生徒による授業評価では、昨年より肯定的な回答が低かった。</p> <p>③探究活動は現在各クラスで進めているところである。今後は内容をまとめ発表する段取りを進める。</p> <p>③韓国や台湾の高校とのオンライン交流を実施し、外国語運用能力の向上や、異文化理解に対する意識の深化・充実を図ることができた。</p>	<p>①授業評価の結果を学習指導の改善につなげていきたい。授業後の振り返りや学習評価の結果をもとに授業計画や指導内容を見直していく。</p> <p>②年度末の生徒による授業評価では、肯定的な結果の数値が少しも上がるように授業改善に取り組みたい。</p> <p>③発表に向けて、内容の充実と効果的な発表の仕方について指導する。</p> <p>③一部の生徒だけでなく、組織的な取組となるよう学校全体で継続的な国際交流を推進したい。</p> <p>③オンライン交流の際に英語でのコミュニケーションが成立しにくい現状がある。日頃の英語学習が実際のコミュニケーションを想定したものとなるよう授業改善に努めたい。</p>	<p>①教育課程・学習指導では、ICTや生成AIを活用した授業改善に学校全体で取り組み、公開研究授業の成果を共有している点などが評価できる。生成AIの活用は先進的でチャレンジングな取組であり、来年度さらにより方向へ発展していくことを期待したい。</p> <p>②公開授業では、どの教室でも教師、生徒ともにICTや生成AIを活用する姿が見られた。引き続き、試行錯誤しながら、授業改善に取り組んで欲しい。</p> <p>②生徒による授業評価結果を受けて、教職員が授業改善に向けて研修を行っていることをPTAとしても保護者にアピールしたい。</p>	<p>①公開研究授業では「生成AIを活用した主体的・対話的で深い学びの実現」をテーマに学習活動を行った結果、多くの授業で生成AIを活用したより効果的な授業が見られ、授業改善につなげることができた。</p> <p>②授業評価では、昨年度より数値が下がった教科もあったが、全体的には84%を超える良い結果であった。</p> <p>③今年度は1年生が探究活動の成果を、校内に留まらず、校外に発表する機会を設けることができた。今後も生徒が主体的に活動できるよう、探究活動の計画的な指導に力を入れたい。</p>	<p>①授業の振り返りを分析し、生徒の意見をフィードバックしながら授業改善に繋げ、授業評価の数値が少しでも上がるように取り組みたい。</p> <p>②特別募集の生徒に対し、個々の指導方法や支援体制を更に考えていく必要がある。</p> <p>③探究活動発表のより効果的な方法を模索していく。</p> <p>③職員の異動により国際交流が途絶えることが無いように引継ぎをしっかりと行う。</p>
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>○自転車乗車マナーの向上を積極的に進め、交通安全に対する取組を組織的に推進する。</p> <p>○生徒の自主的・主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を培う活動内容の充実を図る。</p>	<p>①自転車乗車中のマナーの向上と事故防止のための取り組みを組織的に実施する。</p> <p>②生徒会活動を支援し、生徒が自主的・自発的に諸活動へ参加できるように取り組む。</p>	<p>①地域や外部機関と連携を図り、交通安全指導の充実を図る。</p> <p>②生徒会、各委員会及びボランティア活動を活性化するとともにHP等を活用し、部活動や生徒会本部の活動を発信することで更なる生徒会活動の充実を図る。</p>	<p>①意識の向上により事故件数や近隣からの苦情数が減少したか。</p> <p>②生徒会、各委員会、ボランティア活動へ生徒の自主的・自発的な参加を促すことができたか。また、HP等を活用することで中学生や地域住民が本校の生徒会活動に興味関心を持つことができたか。</p>	<p>①苦情は若干の減少。事故件数は確認中。改善の兆しが多少みられる。スクエアドストレートの実施を通して、生徒の交通安全に対する意識の向上を図ることができた。</p> <p>②各行事を通じて生徒会本部の自主的な活動を促すことができた。委員会やボランティア活動への参加は例年と変わっていない。</p>	<p>①引き続き、立番・巡回指導やスクエアドストレート等の実施を通して生徒の交通安全とルール・マナーに対する啓発を図る。</p> <p>②生徒会本部が行事などの期日目標を設定するとともに、生徒主体のPR活動を実施し、生徒の自主的・自発的な参加を促す。</p>	<p>①自転車乗車中のマナーについて、苦情件数、種類など校内で公開してはどうか。</p> <p>①地域住民から見て、自転車の並走等が減少しているように見える。</p> <p>①自転車マナー改善については、家庭での指導も必要であることをPTAとして訴えたい。</p> <p>②生徒が参加する地域ボランティア活動は、手際が良い等、評判が良い。</p> <p>②生徒会役員数が増加と聞いた。生徒の主体性を重視した取組がなされている。</p>	<p>①事故件数や登下校中の苦情は減少傾向にあると思われるが、迷惑行為に相当する苦情が増加しているように思える。</p> <p>②生徒会本部中心にボランティア活動へ率先して参加しているが、特定の生徒に偏っているため幅広い生徒の参加を促していきたい。</p>	<p>①引き続き、事故防止や登下校中のルール、マナーの啓発を継続し、喫煙やコンビニ・駐車場などにたむろするといった行動にも注意喚起を図る。</p> <p>②ボランティア活動など、外部の活動に関してポスター掲示を行い周知徹底していきたい。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		最終校内評価		学校関係者評価 (3月6日実施)	総合評価(3月23日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎力の定着とともに思考力・判断力・表現力の伸長を目指した探究活動を展開する。</li> <li>生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導を展開し、多様性を意識し、共生社会の実現に向け行動する力を育む。</li> </ul>	<p>①進路実現に向け、探究活動での思考力・判断力・表現力の伸長と、キャリア教育実践を充実させる。</p> <p>②特別募集の生徒の進路決定に向け、教科「職業」の内容の充実を図る。面談ではSSW等の専門職との連携を図り、進路決定に向けた支援の充実を図る。</p>	<p>①外部機関との連携を交えながら、各学年毎に、計画的にキャリア教育、探究活動を実践する。</p> <p>②「職業」では自己理解やソーシャルスキルの向上を目指す。SSWなどの専門職と連携し、面談内容の充実を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりが意識を持って取り組む支援ができたか。</p> <p>目標や計画が可視化できたか。</p> <p>②自己理解やソーシャルスキルの向上が図れたか。</p> <p>SSWと連携を図って、面談で生徒・保護者の理解を図れたか。</p>	<p>①全学年へのオープンキャンパスへの参加促進、1学期進路講演会や2学期には大学での模擬授業体験を取り入れ、1年生段階からキャリア観を育むよう働きかけた。</p> <p>②「職業」は、道交法改正を踏まえた自転車のルール・マナーについて取り上げるなど、生活に即した内容を意識した。日常の生徒情報について、適宜SSWに相談し、対応に生かしている。10月からSST(ソーシャルスキルトレーニング)を開始した。</p>	<p>①2年生は2学期修学旅行等行事が落ち着いたところからキャリア教育、探究活動に力を入れる必要がある。</p> <p>①国内教育機関から留学生を招聘し、話を聞くことで、職業に対するユニバーサルな感覚を涵養することができた。職員異動があっても継続できるようしっかり引継ぎしたい。</p> <p>②「職業」では、各学年の生徒の実態に合わせて、取り組みができています。SSWとの連携を図り、どちらも継続して取り組んでいきたい。</p>	<p>①1年生の探究活動発表を学年全体でポスターセッション形式で実施したのは効果的である。</p> <p>①オープンキャンパス参加の促進、進路講演会、大学での模擬授業体験などを通して、生徒が早い段階から進路や将来を考える機会を広げている。</p> <p>②留学生との交流などを通して生徒が多様な価値観や進路のあり方に触れる機会を提供しており、視野を広げるうえで意義のある取組を実施している。今後も、探究活動やキャリア教育の充実を図りながら、こうした取組を継続・発展させていくことを期待したい。</p>	<p>①1年次から、大学訪問や職業人講話を取り入れ、卒業後の進路を見据えたキャリア教育を計画的に実施した。探究活動は、学年でのポスターセッションにより生徒の成果を発表する場を広げた。</p> <p>②「職業」では、現在から卒業後の家庭生活・社会生活で実際に生かせることを取り上げた。今後も、生徒に必要な事柄を取り上げられるよう教材研究に励む。</p> <p>②生徒の情報交換をはじめ、担任からの相談等をSSWにつなぐことができた。</p>	<p>①来年度は学年を超えた成果発表の機会を設けたい。</p> <p>②「職業」の担当者は毎年初めて担当する教員がいる。3年間の授業計画を確実に抑えつつも、社会の変化に沿って、必要な内容を柔軟に取り入れるよう、教材研究に取り組む。SSWとの連携については、担任の困り感を的確にとらえ、SSWへの橋渡しができるよう努めたい。</p>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAとの連携、地域、企業の教育力の活用などにより学校理解の促進を図るとともに、地域に開かれた地域とともにある安全・安心な学校づくりを進める。</li> </ul>	<p>①積極的に地域との交流を行うことにより、本校の教育活動の充実を図る。</p>	<p>①生徒会、PTA、自治会等が連携し、地域行事に積極的に参加・協力する。地域の要望を踏まえ「地域貢献デー」を全学年で実施する。</p> <p>②HPの更新や様々な方法で積極的に本校の情報発信を図る。</p>	<p>①地域行事・催し物に積極的に参加できたか。</p> <p>また、地域のニーズを踏まえた「地域貢献デー」を実施できたか。</p> <p>②HPを中心に情報発信を積極的にできたか。新入生アンケートを参考にし、情報発信方法の改善ができたか。</p>	<p>①PTAを中心に地域行事である「ふるさと祭り」に積極的に参加することができた。また、1年生による地域貢献(清掃活動)も例年通りに実施。今後、地域からの要望があれば2・3年生の活動に反映させていきたい。</p> <p>②HPの更新は積極的にできている。9月からインスタグラムを開設し、2学年の修学旅行をリアルタイムに投稿できた。</p>	<p>①地域清掃においては、範囲を広げたい思いはあるが、交通量が多く危険な場所もあるので現状のまま行うしかない。</p> <p>①花火大会実施、子供食堂への寄付、地域イベント運営ボランティア参加等、次年度も地域と連携実施したい。</p> <p>②インスタグラムのフォロワー数が増えるように学校説明会などで情報発信していきたい。</p>	<p>①PTA活動が活発でない学校もある。もはやPTAが解散している学校もあると聞いている。不登校生徒は全体で2,000名を超えたとの報告もある。高校入学後そのようなことにならないようご協力いただきたい。学校から具体的な協力要請があれば、PTAでも対応できる。</p> <p>①地域貢献活動はPTAとしても生徒と連携しながら進めたい。</p>	<p>①PTA活動においては、一人一委員会体制で充実した活動ができた。地域清掃においては、地域からの要望があれば今後検討していきたい。</p> <p>②HP更新は積極的に、継続的に取り組むことができた。インスタグラムを開設して半年経過した。フォロワー数増加について検討したい。</p>	<p>①管理職の協力を得ながら、一人一委員会での16委員会を維持する。</p> <p>②新入生アンケートを参考に、いかに幅広く情報発信ができるのか分析したい。またHP、Instagram、パンフレットなどの改善を図りたい。</p>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を研究する。</li> <li>ワークライフバランスの実現を通じて、効果的な教育活動を行うため、働き方改革の取組を進める。</li> </ul>	<p>①生徒及び職員が参加する「DIG研修」や「防災訓練」を実施するとともに、災害時に学校としてどのような地域貢献ができるかを模索する。</p> <p>②事故防止も意識しながら、働き方改革を推進し、働きやすい職場づくりに取り組む。</p>	<p>①新入生及び新着任者「DIG研修」を義務付け、生徒・職員の安全を確保する。災害時にどのような地域貢献が可能なかを学校運営協議会で検討する。</p> <p>②ノー残業デー設定や年次休暇の取得の推進により、ワークライフバランスを整える。</p> <p>②不祥事防止職員研修会を定期的実施する。</p>	<p>①「DIG研修」「防災訓練」を実践的に実施し、災害時の具体的な活動を明示できたか。</p> <p>②時間外在校時間数を減らすことができたか。</p> <p>年次休暇取得数を増やすことができたか。</p> <p>②風通しのよい職場づくりを心掛け、教育公務員としての意識向上が図れたか。</p>	<p>①教員・生徒ともにDIG研修を実施することができた。</p> <p>防災訓練においては、集団下校班を確認するとともに、ハザードマップを活用し、学校から自宅周辺までの経路を確認することができた。</p> <p>②ノー残業デーの設定、企画会議を中心とした業務精選・移管の検討、あらゆる機会を用いて事故・不祥事防止に努めた。ストレスチェックの総合健康リスク数値は全県平均をはるかに下回る結果となった。</p>	<p>①防災訓練の集団下校班については、指示が出てから全班が集合なくてもよいと考える。</p> <p>①今後も働き方改革を推進し、衛生委員会等職員の意見を反映しながら風通しのよい職場づくりを推進したい。</p> <p>また、あらゆる機会を捉え、事故防止啓発資料の配付、研修会の実施等を行い、事故・不祥事の未然防止にも努める。</p> <p>②引き続き、多忙感の解消、高ストレス者の減少及び職員の健康管理に努める。</p>	<p>①防災訓練集団下校班の時間計測は、ぜひやってみるとよい。全ての班でなくてもよいと考える。</p> <p>①各種式典行事に保護者等の要望事項を可能な限り反映してもらえるのはありがたい。</p>	<p>①充実した防災訓練及びDIG研修を行うことができた。集団下校班については、各班の集合状況を確認するためにも避難指示からの時間計測を実施したい。</p> <p>②ラウンジ(旧昇降口)の整備。</p> <p>②衛生委員会や企画会議を中心に働き方改革を推進することができた。ストレスチェックや学校マネジメント支援アンケート結果の数値を見ても比較的良好な職場環境であると判断できる。</p>	<p>①集合までの時間を把握するために、本番同様の緊張感を持った防災訓練にする。</p> <p>②引き続き、職員の意見を踏まえながら、働き方改革を推進し、高ストレス者の減少や多忙感の解消に努める。</p>